



# 鶴沼ふれあいトピア

～学校・家庭・地域の「ふれあい」で子どもたちの「健やかな成長」を～

藤沢市 学校・家庭・地域 三者連携推進事業（三者連携ふじさわ）鶴沼中学校区協力者会議

学

校

自

慢

## 先生方にコロナ禍での様子を聞いてみました！！



鶴沼中学校



昼食の時間に廊下を歩くと、以前とは違い生徒はみんな黙食をしています。なんとも言えない光景です。一切話さず、みんな同じ方向を向いて食べています。活発に活動している中学生ですから、12時にはもうお腹がペコペコで、勉強に集中できないくらいかもしれません。4時間目が終わり、待ちに待った昼食をみんなとワイワイやりながらお弁当を食べる時間は、生徒にとっては部活動と同じくらいに楽しい時間だったかもしれません。「お弁当はおいしいけれど、何か物足りない」そんなことを感じながら生徒は一生懸命黙食していると思います。

先生たちは朝、いつもより早く来て昇降口に机を出して、生徒の健康観察票の確認と検温をしてきました。感染防止対策をしながら、どうやったら授業ができるか考えてきました。授業が終わると手袋をして教室を消毒してきました。自分が感染するのではないかと、生徒や自分の家族にうつしてしまうのではないかと気持ちギリギリでやってきました。

「生徒も先生も一生懸命考えて行動してきた2年間だったなあ」と思います。（教頭先生）

鶴沼小学校



本校の学校教育目標は、「笑顔 気くばり つたえあい」です。この目標は、2009年に見直しを図り、2011年から掲げたものです。

さて、目標は、「目」で見た時にその「的」に近づいているかの「標」となるものです。

つまり、学校教育目標が目指すゴールは、本校の教育活動をとおして、どういった子どもを育ていくかであり、現在その目指す姿を「自分を大切に、他人を認められる子」「集団の中で、思いやりと規範意識を持てる子」「学ぶ過程を楽しみ、なりたい自分に向かって学び続ける子」としています。

お互いを認め合い、何か起こった時は、相手の立場に立って考える。他者の意見を聞き、自分の思いを発信できる。そんな子どもに育てほしいと願い、日々、子どもたちにアプローチを続けています。

現在、この新型コロナウイルス蔓延という非常事態の中、教職員は、一致団結し、様々な工夫を凝らしながら、毎日を積み重ねています。当たり前と捉えられてしまうかもしれませんが、間近で熱心に取り組む教職員を見ている私にとって、本校教職員は何より学校の自慢です。

本校は、今年、創立150年を迎えます。今後も一丸となって、学校教育目標に則って、子どもたちの育成に力を尽くして参ります。（教頭先生）

鶴洋小学校



<自慢の一つコモンスペース> 鶴洋小学校の教頭としての自慢、それは丁寧な指導をしている先生と落ち着いた態度で授業を受けている子ども達、そして子ども達のためにと常に考え動いてくれるPTAです。職員室で子ども達のために自作教材を作っていたり、ドリル等に助言の一言を書いていたたりする先生の姿や保護者に丁寧な電話をかけている姿、コモンスペースなどで子ども一人一人の話を聞いている姿や休み時間に子どもと汗を流している姿があります。コモンスペースは、鶴洋の自慢の一つです。

子ども達も落ち着いて学習と向き合い、自分の経験から意見を出したり、他の子の意見になるほどと頷いていたり、困っている子を見かけたら声をかけて手伝ってあげたりする姿も見ることができます。PTAは登校見守りや学級図書の実充をはじめ、学校の清掃や花壇の手入れ等のほか、子ども達のために学習環境整備に尽力いただいています。残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染症の対応で、教育活動に肝心の関わり合うことが制限され、教育活動が難しい部分があります。それでも、「えがお あいさつ まなびあい」に向けた学校づくりを教職員一丸となって取り組んでいます。引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力、ご支援をよろしくお願いたします。（教頭先生）

